

小林市

こばやしびと

Vol.136



令和4年には、母校や市内中学校で講演会を開催。学生当時弾いていた曲の演奏を交えながら、留学の経験談などを講話し、生徒にエールを送った

令和5年度小林市文化会館自主文化事業
小林市出身者及び在住者によるコンサート

第11回

こばやしびとFes.

——まだ知らない、
ギターの音に会いに。

大萩 康司
25th Anniversary

profile
パリのエコール・ノルマル音楽院、
パリ国立高等音楽院、イタリア・キ
ジアーナ音楽院で学ぶ。1998年ハ
バナ国際ギター・コンクール第2位
＆審査員特別賞受賞。第6回ホテル
オークラ音楽賞、第18回出光音楽
賞受賞。東北学院音楽大学、大阪
音楽大学客員教授。

公式WEBサイト youshihagi.com
公式Instagram [@youshihagi_official](https://www.instagram.com/youshihagi_official/)
公式X [@youshihagi](https://twitter.com/youshihagi)

2026年
9月6日[日] **会場** 小林市文化会館 **開場** 13:30
大ホール **開演** 14:00

入場無料 **全席自由**
要整理券

入場には整理券が必要です。未就学児：入場不可
※観覧席（第一入場口後まで）は、小林市文化会館にて配布しています。
※観覧席は先着順です。
※観覧席での観覧をご希望の方は、小林市文化会館にお問い合わせください。

主催：小林市 小林市教育委員会
企画・制作：こばやしびとプロジェクト（実行委員会）
後援：小林市文化会館 小林市音楽協会 小林市音楽協会

お問合せ先／小林市文化会館 TEL.0984-23-7400

- 日時 9月6日（日曜）
開場 13時30分～ 開演 14時～
- 場所 文化会館大ホール
- 料金 無料（全席自由）
- その他 入場には整理券が必要です。（当日でも整理券を配布します）
- 問＝文化会館 Tel 23-7400

「同じ曲でも演奏する人が変わると、音楽の表情が変わる。そこが、音楽のおもしろいところ」。

そう話すのは、世界を舞台に演奏活動を展開するクラシックギタリストの大萩康司さんだ。小さいころは体が弱く、室内で遊ぶことが多かった。そんなときに出会ったのが、母と兄が奏でるギターだった。

「飽きっぽい性格だけど、ギターだけは楽しく続けてこられた」と笑顔で話す。

8歳からギターを始め、地域のギターサークルで腕を磨くうちに、その魅力に引き込まれていった。10歳になるころには、プロギ

タリストになる夢を抱き、研鑽を重ねた。そして、高校2年生の時、全国から最高の演奏家が集まっていた「ムービー・チ・フェスティバル」で刺激を受け、高校卒業後の留学を決意。

「留学を決めた時、母が一番に背中を押してくれた。父にも経済面で支えてもらい、感謝しています」。

高校卒業後、さらなる技術の向上を目指してフランスへ。言葉の壁に苦労しながらも、音楽を一から学び直し、演奏技術を磨いた。その努力が花開き、20歳でハバナ国際ギターコンクールで準優勝と審査員特別賞を受賞。メジャーレーベル

との契約を果たすと、22歳でCDデビューを飾った。その活躍は、各界の第一線で活躍する人に密着するドキュメンタリー番組「情熱大陸」や「トップランナー」などでも取り上げられるほどとなった。

「知らないところで、自分の音楽を聴いてくれている。不思議な感覚だった」。

その後も、音楽と向き合いながら技を磨き、20枚を超えるアルバムをリリース。小さな努力を重ねながら、音楽の道をひたむきに歩み続けてきた。ギターに触れない日が続くと、筋肉や感覚が落ちるという。そして、基礎体力づくりも欠

かさない。マラソン大会に参加するなど、体づくりに磨きをかける。

そんな大萩さんが大切にしているのが、生まれ育った小林市とのつながりだ。

「小林市は大好き。まず人が温かい。そして食べ物と水がおいしいし、あの絶景は最高ですね」。

地元への思いを柔らかな表情で語る大萩さん。令和3年には「こばやしふるさと大使」に就任し、音楽活動を続けながら、小林市のPRにも力を注ぐ。

そして昨年、デビューから25周年を迎えた。節目を記念して制作したアルバムには、これまでの作品から

選りすぐりのナンバーを収録。25年の歩みと、支えてくれた人たちへの感謝が詰まっている。

「二人の力ではここまで来られなかった。だからこそ、一人一人への感謝の気持ちを音楽で届けたい」。

音符と音符の間に込められた作曲家の思いをくみ取り、そこに自分の表現を重ねる。そうして生まれた一音一音が、聴く人一人一人の心へ届いていく。

9月には「こばやしわのしづくフェス」への出演も決まっている。世界中の心を動かしてきた大萩さんが奏でるギターの音色を、ぜひ会場で感じてほしい。

小林市から世界へ

響き続けるギターの音色

©SHIMON SEKIYA



クラシックギタリスト
おおはぎ やすじ
大萩 康司さん (48)

小林高校卒業後、フランス・パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院、イタリア・キジアーナ音楽院へ留学。20歳でハバナ国際ギターコンクールで準優勝と審査員特別賞を受賞。22歳で「11月のある日」でCDデビュー。これまでに20枚以上のアルバムをリリースし、昨年デビュー25周年を迎えた。